

2016 年度

事業計画書

事業予算書

2016 年度 基本理念

2016 年度理事長 秋鹿 修

2016 年、松江青年会議所は創立 60 周年の大きな節目を迎えます。これもひとえに戦後まもない荒廃の中、先輩諸兄が青年の持つ熱き情熱を胸に立ち上がり、明るい豊かな社会の実現に向け青年会議所運動に邁進されてきた結果であります。我々に課せられた使命は、この脈々と受け継がれた青年会議所運動のうねりを止めることなく、次世代へ継承していくことに他なりません。

明るい豊かな社会への第一歩は我々一人ひとりがこのまちへの熱い思いを持つことです。その思いが青年会議所運動の礎となり、様々な知恵が生まれ、議論を重ね、汗をかくことで少しずつ形になっていきます。簡単なことではありませんが、思いがなければ、信じて行動しなければ形になることはありません。

不安定な経済状況の中、青年会議所運動ができることは幸せなことです。先輩諸兄、会社、家族、支えていただいている人への感謝を忘れず、明るい豊かな社会が真実になるようメンバーが一丸となって進んでいきましょう！！

2016 年度 公益社団法人松江青年会議所 スローガン

心・信・真

～心のままに信じたことが真実になる～

2016 年度 基本方針

2016 年度理事長 秋鹿 修

1. 創立 60 周年を迎え

昭和 31 年、戦後の荒廃の中、全国 100 番目の青年会議所として松江青年会議所が誕生しました。それから 60 年もの長きにわたり、先輩諸兄が明るい豊かな社会の創造に向けて青年会議所運動に邁進され、また、このまちの人々、そして県内外の青年会議所の仲間の支えがあり、創立 60 周年を迎えることができます。これまで松江青年会議所に携わっていただいたすべての皆様に感謝するとともに新たな歴史を刻んでいきましょう。

2. このまちの未来のために

このまちの未来を創造していくことは我々青年の責務です。このまちに住む老若男女すべての人々が郷土を愛し、希望の持てるまちにしていかなければなりません。市民、行政、関係諸団体とも連携し、賑わいの創出、まちづくり事業など 60 周年に相応しい魅力溢れる事業を展開します。「未来のことは誰にもわからないが、未来が誰に委ねられているかはわかる」この言葉の重みをしっかりと受け止め、青年会議所運動を推進しましょう。

3. 青年会議所運動の継続

明るい豊かな社会の創造を実現するためには青年会議所運動を絶え間なく継続していかなければなりません。そのためには運動を進めていく「人」が必要です。会員数はピーク時の 3 分の 1 に減少し、このままでは青年会議所運動そのものが困難になりかねません。メンバー一人ひとりが当事者意識を持ち、高いアンテナを張り、ともに活動する仲間を探しましょう。また、会員拡大とともに退会者を無くすことも重要です。それぞれ取り巻く環境が違えば会社も異なり、家族もあります。時代に沿った組織づくり、事業構成が不可欠であり、堂々と胸を張って青年会議所運動ができるよう努めましょう。

4. 公益社団法人として

2014 年度に公益社団法人格を取得しましたが、それまでに携わっていただいた多くの先輩諸兄、またメンバーの並々ならぬ努力があったことを忘れてはいけません。まだまだ手探りなところがありますので、より円滑な組織運営ができるようさらなる整備を進めていきましょう。

5. 出向者支援について

出向は県内外の同じ志を持った多くの仲間と自己研鑽を積める大変貴重な機会です。そこで培った経験を LOM に持ち帰ることにより組織の発展に繋がります。松江青年会議所を代表して出向するメンバーに対し、LOM を挙げて支援していきましょう。

6. 最後に

60 周年を迎えるこの年を重荷を感じる必要はありません。むしろこの記念すべき年に松江青年会議所のメンバーであることに感謝し、新たな歴史への 1 ページを皆さんの力を結集して松江青年会議所に刻みましょう。皆さんが心のままに信じたことが真実になる、そのような素晴らしい 1 年になることを信じています。

2016年度 委員会構成・事業

1, 総務・広報委員会

- I 広報活動に関する調査・研究
- II 水燈路に関連する委員会事業（10月）の企画・実施
- III 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施
- IV 総会・例会（2月・8月・12月）の企画・実施
- V 渡鍵式（12月）の企画・運営
- VI 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用
- VII 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理
- VIII 総会・理事会・全役員協議会・正副委員長会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録作成
- IX 情報技術に関する諸問題の調査・研究
- X 会員・特別会員に向けた各種情報発信
- X I 広報・ホームページの管理更新・各種情報発信
- X II 要覧・会員名簿の作成
- X III 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施
- X IV 会員・特別会員への慶弔事業の実施
- X V 公益社団法人日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック会員大会（9月）の連絡調整
- X VI 島根ブロック協議会災害支援ネットワークの連絡調整窓口
- X VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員会・災害支援系委員会との連絡調整
- X VIII 会員拡大に関する事項
- X IX 60周年事業に関する事項
- X X 出向者の支援

2, 松江だんだん委員会

- I 松江だんだん（7月第2例会）の企画・実施
- II 6月度例会の実施
- III 卒業式祝賀会（11月）の企画・実施
- IV 公益社団法人日本青年会議所京都会議（京都・1月）の連絡調整
- V 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画
- VI 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化委員会及び環境系委員会との連絡調整
- VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整
- VIII 文化関連団体との連絡調整
- IX 環境関連団体との連絡調整

X 会員拡大に関する事項

X I 60周年事業に関する事項

X II 出向者の支援

3, 60周年実行特別委員会

I 60周年に関する例会（7月第1例会）の企画・実施

II 3月度例会の実施

III 60周年記念式典・記念講演・祝賀会（10月）の企画・実施

IV 他L OM周年事業（安来・島根大田）の連絡調整

V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック会長公式訪問（2月）の連絡調整・運営

VI 会員拡大に関する事項

VII 60周年事業に関する事項

VIII 出向者の支援

4, 会員力向上委員会

I 人材育成及び指導力開発に関する諸問題の調査・研究

II 賀会例会（1月）の企画・実施

III 人材育成及び指導力開発に関する例会（5月）の企画・実施

IV 卒業式式典（11月）の企画・実施

V 公益社団法人日本青年会議所サマーコンファレンス（横浜・7月）の連絡調整

VI 研修生の指導及び研修

VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の指導力開発系委員会及び国際開発系委員会との連絡調整

VIII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会との連絡調整

IX 会員拡大に関する事項

X 60周年事業に関する事項

X I 出向者の支援

5, 松江の未来創造委員会

I まちづくりに関する諸問題の調査・研究

II 青少年育成に関する諸問題の調査・研究

III まちづくりに関する例会（4月・9月）の企画・実施

IV 青少年育成に関する例会（9月）の企画・実施

V 松江だんだん少年野球大会（7月）の企画・実施

VI 公益社団法人日本青年会議所全国大会（広島・10月）の連絡調整

VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の教育系委員会及び社会系委員会との連絡調整

VIII 6 J C 経済文化交流会への参加と連絡調整

- IX 教育関連団体との連絡調整窓口
- X スポーツ関連団体との連絡調整窓口
- X I 会員拡大に関する事項
- X II 60周年事業に関する事項
- X III 出向者の支援

特記事項

- 上記に記載されていない事業の連絡調整窓口は専務理事が担当する
(全国城下町シンポジウム、地区コンファレンス、浦添青年会議所 45周年、ASPAC、JCI 世界会議)

2016 年度 委員会年間事業計画

総務・広報委員会 委員長 内部 高志

1. 事業目的

松江青年会議所は、公益社団法人となり 3 期目を迎えます。3 期目となる今年は、先人の光績を引継いだ上で、より円滑な組織運営ができるよう、更なる整備を進めていきます。

総務活動では、総会や理事会等の各種会議の設営、会計管理等の事務局の運営を、これまで以上にしっかりと行います。そして、公益法人運営に対応した書式の整備や、定款および諸規程の研究に取り組みます。

広報活動では、ホームページを管理するシステムや Facebook の活用をはじめとした、今まで効果を上げていた手法を継承します。その上で、「ホリカワくん」や写真共有サービスの活用を検討し、良い方法があれば積極的に取り入れます。また、組織の運動を伝える広報だけでなく、松江青年会議所の良さである、正会員個人の楽しそうな姿を、多くの人々に積極的に伝えます。

水燈路関連事業については、松江青年会議所としてどのように本事業に携わっていくべきかを調査研究し、来場者に楽しんでいただけるイベントとなるよう取り組みます。

2. 委員会事業

- ①定時総会・例会
- ②水燈路関連事業
- ③渡鍵式
- ④（公社）日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック大会

松江だんだん委員会 委員長 石倉 英弥

1. 事業目的

松江市の一大イベントである水郷祭は新たな一步を踏み出します。そこで「松江だんだん」においては、市民、行政、関係諸団体とも連携を深めることで足並みを揃え、その中でも我々が先頭に立ち率先して行動し汗をかき、我々の信念であるこのまちの明るい未来のために賑わいや笑顔が溢れる事業を行います。また、新たな祭りのモデルとして、市民のモラルや市民の参加意識の向上を図る取り組みを行います。

6 月度例会におきましては、松江の豊かな自然環境の保護や大切さなどを再認識し、我々の環境に対する意識の向上を図る事を目的とします。

卒業式祝賀会におきましては、卒業生の皆様のこれまでの JC 運動をご慰労すると共に、これからのさらなる飛躍を祈念する場を心をこめて設営を致します。

2. 委員会事業

- ①京都会議
- ②6 月度例会
- ③7 月度第 2 例会（松江だんだん）
- ④卒業式祝賀会

1. 事業目的

2016年度、(公社)松江青年会議所が創立60周年の節目を迎えるにあたり、「心・信・真 ～心のままに信じたことが真実になる」のスローガンのもと、創立60周年事業を行います。

創立60周年記念式典・祝賀会では、60年の松江の歩みを支えてこられた先輩諸兄や、各地会員会議所メンバーへ、心からの感謝と敬意を表します。また創立60周年記念事業では、地域の皆様と共に、松江の次代を創る為に、強い信念を醸成する機会とします。

3月度例会では厳粛な例会を行うと共に、過去の周年事業を振り返り、先輩諸兄の想いをメンバー全員で共有します。

また、7月度第1例会では、私たちメンバー一人ひとりが同じ想いを持って創立60周年を迎えることが出来るよう、委員会と役職の垣根を越え、一致団結する機会とします。

ブロック会長公式訪問では、島根ブロック協議会会長の想いをメンバー全員で共有します。また、各地会員会議所の周年事業には、多くのメンバーで参加しお祝いすることで、我々の創立60周年事業にもお越し頂けることを期待します。

2. 委員会事業

- ①島根ブロックナイト
- ②3月度例会
- ③他 LOM 周年事業 (安来 JC、島根大田 JC)
- ④7月度第1例会
- ⑤創立60周年記念式典・祝賀会
- ⑥創立60周年記念事業
- ⑦創立60周年記念誌の発行
- ⑧創立60周年の広報

会員力向上委員会 委員長 林 法正

1. 事業目的

松江青年会議所は今日にいたるまで、先輩諸兄、このまちの人々、各地青年会議所の多くの仲間の支えのもと、60年という長きにわたり、青年会議所運動に邁進してきました。しかし、60周年の年頭の会員数は過去20年間で最も少なく、今後の青年会議所運動への影響が懸念されます。

この危機的状況の中、2016年会員力向上委員会はこれまで築いてこられた諸先輩方の思いを継承し、より一層明るい豊かな社会の実現を目指して取り組んでいくために、会員一人ひとりが今まで以上に当事者意識を持ち、一丸となって行える会員拡大運動を実践していきます。

そして正会員には、知識と教養、青年会議所運動に取り組む姿勢、個々の魅力の向上によって、周囲からの一層の理解につながる会員の資質向上にむけた活動を行うことを目的とします。

研修生には、松江青年会議所の様々な機会を通じて、友情や絆を大切に、笑顔で積極的に行動していくための研修を行うことを目的とします。

2. 委員会事業

- ① 賀会例会
- ② 5 月度例会
- ③ (公社) 日本青年会議所サマーコンファレンス (横浜)
- ④ 11 月度例会 (卒業式)

松江の未来創造委員会 委員長 福原 一裕

1. 事業目的

私たちの暮らす松江市は、代々守り続けられてきた多くの歴史、文化、豊かな自然があります。しかし一方で、生活環境の変化に伴い、時代と共に我々を取り巻く環境は変わりました。

松江の未来創造委員会は、これらの財産を継承しつつ、我々青年ならではの視点に合わせた提案をし、松江に暮らす人々に希望溢れる未来の姿を指し示すことで、このまちの発展に繋げていきます。

4 月度担当例会では、水辺使用の規制緩和に先駆けて、水都松江の魅力の更なる発掘をするべく、湖とまちと人との関わり方を検討し、未来のまちの姿を考える機会とします。

9 月度担当例会では、市民、行政、関係諸団体の協力を頂きながら、まちづくり事業を通して松江の新たな魅力を体感し、未来への希望と郷土を想うところを育て頂く機会とします。

日立旗争奪第 12 回松江だんだん少年野球大会では、真剣勝負の楽しさを存分に味わって頂きながら、スポーツを通して心身の健全育成を図る機会とします。

2. 委員会事業

- ① 4 月度担当例会
- ② 日立旗争奪第 12 回松江だんだん少年野球大会
- ③ 9 月度担当例会
- ④ 第 65 回全国大会 (広島)

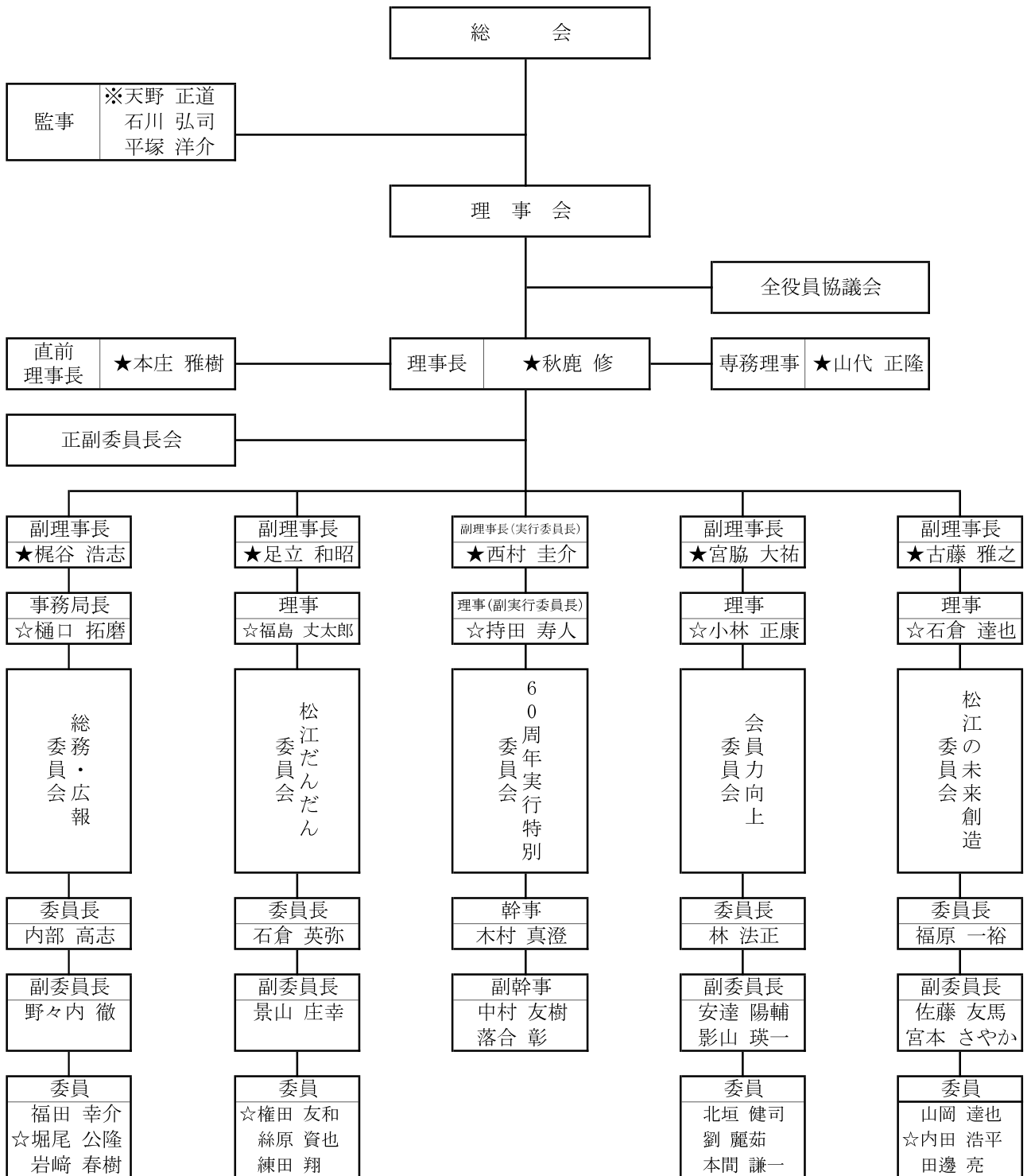
2016 年度 運営規程変更

現 行	改 訂
<p>第 7 条 (委員会)</p> <p>1 委員会は毎月 1 回以上は開催し、会員は出席義務を負う。</p> <p>2 委員会事業の実施については、理事会の承認を得なければならない。</p> <p>3 定款第 50 条の規定により次の委員会を設置する。 JC ビジョン委員会、地域創像委員会、会員力向上委員会、松江だんだん委員会、総務・研修委員会</p> <p>4 総会の決議を経て、単年度の事業目的達成のために特別委員会を設置することができる。</p> <p>5 委員会の職務分掌は次のとおりとする。</p> <p>(1) JC ビジョン委員会</p> <p>I 今後の松江青年会議所の組織運営に関する諸問題の調査・研究と方向性の提示(7 月)</p> <p>II (社) 松江青年会議所過去 60 年間の事業に関する調査及び編纂</p> <p>III JC デー (10 月) の企画・実施</p> <p>IV 卒業式祝賀会(11 月)の企画・実施</p> <p>V (公社) 日本青年会議所京都会議 (京都・1 月) の連絡調整</p> <p>VI JCI ASPAC (マレーシア) の連絡調整</p> <p>VII (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整</p> <p>VIII 特別会員との連絡調整窓口</p> <p>IX (公社) 日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック会長公式訪問の連絡調整・運営</p> <p>X 他 LOM 周年事業の連絡調整</p> <p>XI 会員拡大に関する事項</p> <p>XII 出向者の支援</p> <p>(2) 地域創像委員会</p> <p>I 地域創像 (ひと・まちづくり) に関する諸問題の調査・研究と関連諸事業の企画・実施(4 月・9 月)</p> <p>II だんだん少年野球大会(7 月・8 月)の企画・実施</p> <p>III 全国城下町青年会議所連絡協議会全国城下町シンポジウム (会津・5 月) の連絡調整</p> <p>IV (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の社会系委員会との連絡調整</p> <p>V 教育関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VI 環境関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VII 他 LOM 周年事業の連絡調整</p> <p>VIII 会員拡大に関する事項</p> <p>IX 出向者の支援</p> <p>(3) 会員力向上委員会</p> <p>I 会員力向上 (会員拡大・指導力・経営力) に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施(3 月・6 月)</p> <p>II 卒業式(11 月)の企画・実施</p> <p>III 研修生の指導及び会員に対する教育研修の企画・実施</p> <p>IV (公社) 日本青年会議所サマーコンファレンス (横浜) の連絡調整</p> <p>V JCI 世界会議 (金沢・11 月) の連絡調整</p> <p>VI (公社) 日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会、経済系委員会、及び指導力開発系委員会との連絡調整</p> <p>VII 他 LOM 周年事業の連絡調整</p> <p>VIII 出向者の支援</p> <p>(4) 松江だんだん委員会</p> <p>I 賀会例会 (1 月) の企画・実施</p> <p>II 松江だんだんの企画・実施</p> <p>III 水燈路関連事業の企画・実施</p> <p>IV (公社) 日本青年会議所全国会員大会 (八戸・9 月) の連絡調整</p>	<p>第 7 条 (委員会)</p> <p>1 委員会は毎月 1 回以上は開催し、会員は出席義務を負う。</p> <p>2 委員会事業の実施については、理事会の承認を得なければならない。</p> <p>3 定款第 50 条の規定により次の委員会を設置する。 総務・広報委員会、松江だんだん委員会、60 周年実行特別委員会、会員力向上委員会、松江の未来創造委員会</p> <p>4 総会の決議を経て、単年度の事業目的達成のために特別委員会を設置することができる。(60 周年実行特別)</p> <p>5 委員会の職務分掌は次のとおりとする。</p> <p>(1) 総務・広報委員会</p> <p>I 広報活動に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>II 水燈路に関連する委員会事業(10 月)の企画・実施</p> <p>III 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>IV 総会・例会(2 月・8 月・12 月)の企画・実施</p> <p>V 渡鍵式 (12 月) の企画・運営</p> <p>VI 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用</p> <p>VII 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理</p> <p>VIII 総会・理事会・全役員協議会・正副委員長会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録の作成</p> <p>IX 情報技術に関する諸問題の調査・研究</p> <p>X 会員・特別会員に向けた各種情報発信</p> <p>XI 広報・ホームページの管理更新・各種情報発信</p> <p>XII 要覧・会員名簿の作成</p> <p>XIII 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施</p> <p>XIV 会員・特別会員への慶弔事業の実施</p> <p>XV 公益社団法人日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会ブロック会員大会(9 月)の連絡調整</p> <p>XVI 島根ブロック協議会災害支援ネットワークの連絡調整窓口</p> <p>XVII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員会・災害支援系委員会との連絡調整</p> <p>XVIII 会員拡大に関する事項</p> <p>XIX 60 周年事業に関する事項</p> <p>XX 出向者の支援</p> <p>(2) 松江だんだん委員会</p> <p>I 松江だんだん(7 月第 2)の企画・実施</p> <p>II 6 月度例会の実施</p> <p>III 卒業式祝賀会(11 月)の企画・実施</p> <p>IV 公益社団法人日本青年会議所京都会議 (京都・1 月) の連絡調整</p> <p>V 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画</p> <p>VI 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化委員会及び環境系委員会との連絡調整</p> <p>VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の政治系委員会との連絡調整</p> <p>VIII 文化関連団体との連絡調整</p> <p>IX 環境関連団体との連絡調整</p> <p>X 会員拡大に関する事項</p> <p>XI 60 周年事業に関する事項</p> <p>XII 出向者の支援</p> <p>(3) 60 周年実行特別委員会</p> <p>I 60 周年に関する例会(7 月第 1)の企画・実施</p>

2016 年度 運営規程変更

現 行	改 訂
<p>V (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の文化系委員会との連絡調整</p> <p>VI 松江水郷祭推進協議会及び実行委員会への調整窓口と参画</p> <p>VII 文化関連団体との連絡調整窓口</p> <p>VIII 6J C 経済文化交流会への参加と連絡調整</p> <p>IX 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>X 会員拡大に関する事項</p> <p>X I 出向者の支援</p> <p>(5) 総務・広報委員会</p> <p>I 広報活動に関する調査・研究と関連諸事業の企画・運営(5月)</p> <p>II 総会・例会(2月・8月度第2・12月)の企画・実施</p> <p>III 公益法人制度に関する調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>IV 定款及び諸規則の調査・研究と関連諸事業の企画・実施</p> <p>V 新公益法人会計基準の調査・実施</p> <p>VI 渡鍵式の企画・運営</p> <p>VII 円滑な事務局運営と諸経費の適切な運用</p> <p>VIII 本会計・事業会計の計画・報告並びに予算・決算の管理</p> <p>IX 理事会等の諸会議の資料作成・会場設営・議事録作成</p> <p>X 情報技術に関する諸問題の調査・研究</p> <p>X I 対内外広報・ホームページの管理更新・各種情報発信</p> <p>X II 要覧・会員名簿の作成</p> <p>X III 人間力大賞・褒賞の審査とエントリーの企画・実施</p> <p>X IV 会員・特別会員への慶弔事業の実施</p> <p>X V 他 L O M 周年事業の連絡調整</p> <p>X IV (公社)日本青年会議所・中国地区島根ブロック協議会ブロック大会(安来)の連絡調整</p> <p>X VII (公社)日本青年会議所中国地区協議会中国地区コンファレンスの連絡調整</p> <p>X VIII (公社)日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の総務広報系委員会・国際開発系委員会・災害支援系委員会との連絡調整</p> <p>X IX 会員拡大に関する事項</p> <p>X X 出向者の支援</p> <p>第8条(推進会議) 特定の事項を研究、推進するために、必要に応じて理事会の承認を経て、推進会議を設置することができる</p>	<p>II 3月度例会の実施</p> <p>III 60周年記念式典・記念講演・祝賀会(10月)の企画・実施</p> <p>IV 他 L O M 周年事業(安来・島根大田)の連絡調整</p> <p>V 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック会長公式訪問(2月)の連絡調整・運営</p> <p>VI 会員拡大に関する事項</p> <p>VII 60周年事業に関する事項</p> <p>VIII 出向者の支援</p> <p>(4) 会員力向上委員会</p> <p>I 人材育成及び指導力開発に関する諸問題の調査・研究</p> <p>II 賀会例会(1月)の企画・実施</p> <p>III 人材育成及び指導力開発に関する例会(5月)の企画・実施</p> <p>IV 卒業式典(11月)の企画・実施</p> <p>V 公益社団法人日本青年会議所サマーコンファレンス(横浜・7月)の連絡調整</p> <p>VI 研修生の指導及び研修</p> <p>VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の指導力開発系委員会及び国際開発系委員会との連絡調整</p> <p>VIII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の会員拡大系委員会との連絡調整</p> <p>IX 会員拡大に関する事項</p> <p>X 60周年事業に関する事項</p> <p>X I 出向者の支援</p> <p>(5) 松江の未来創造委員会</p> <p>I まちづくりに関する諸問題の調査・研究</p> <p>II 青少年育成に関する諸問題の調査・研究</p> <p>III まちづくりに関する例会(4月・9月)の企画・実施</p> <p>IV 青少年育成に関する例会(9月)の企画・実施</p> <p>V 松江だんだん少年野球大会(7月)の企画・実施</p> <p>VI 公益社団法人日本青年会議所全国大会(広島・10月)の連絡調整</p> <p>VII 公益社団法人日本青年会議所・中国地区協議会・島根ブロック協議会の教育系委員会及び社会系委員会との連絡調整</p> <p>VIII 6J C 経済文化交流会への参加と連絡調整</p> <p>IX 教育関連団体との連絡調整窓口</p> <p>X スポーツ関連団体との連絡調整窓口</p> <p>X I 会員拡大に関する事項</p> <p>X II 60周年事業に関する事項</p> <p>X III 出向者の支援</p> <p>第8条(推進会議) 特定の事項を研究、推進するために、必要に応じて理事会の承認を経て、推進会議を設置することができる</p>

2016年度 組織図



★は常任理事、☆は理事、※は外部監事

理 事 長	1 名	監 事	3 名 (うち特別会員1名)
直 前 理 事 長	1 名	委 員 長 ・ 幹 事	5 名
副 理 事 長	5 名	副 委 員 長 ・ 副 幹 事	8 名
専 務 理 事	1 名	委 員	9 名
理 事	8 名		
(理 事 総 数 16 名)		(正 会 員 合 計 40 名)	

2016年度 出向者

公益社団法人日本青年会議所 全国大会運営会議	委 員	権田 友和
民度向上委員会	委 員	足立 和昭
公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会 真の主権回復委員会	委 員	堀尾 公隆
公益社団法人日本青年会議所中国地区島根ブロック協議会	副 会 長 副会長補佐	本庄 雅樹 岩崎 春樹
立憲主義確立委員会	委 員 長 副 委 員 長 委 員	福島 丈太郎 内田 浩平 足立 和昭
ブロック大会委員会	委 員	北垣 健司
領土委員会	委 員	堀尾 公隆
育成委員会	委 員	田邊 亮
誇れる島根の人財拡大委員会	委 員	影山 瑛一
6JC 経済文化交流会	委 員 委 員	石川 弘司 佐藤 友馬
全国城下町青年会議所連絡協議会	理 事	本庄 雅樹

2016年度 年間公式スケジュール

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
松江青年会議所	常任理事会 5日(火)第1回	2日(火)第2回	2日(水)第3回	5日(火)第4回	6日(火)第5回 31日(火)第6回		5日(火)第7回	2日(火)第8回 30日(火)第9回		4日(火)第10回	1日(火)第11回	6日(火)第12回
	正副委員長会 14日(木)第1回	12日(金)第2回	10日(木)第3回	14日(木)第4回	12日(木)第5回	9日(木)第6回	14日(木)第7回	10日(水)第8回	8日(木)第9回	13日(木)第10回	10日(木)第11回	15日(木)第12回(新旧)
	全役員協議会 14日(木)第1回	12日(金)第2回	10日(木)第3回	14日(木)第4回	12日(木)第5回	9日(木)第6回	14日(木)第7回	10日(水)第8回	8日(木)第9回	13日(木)第10回	10日(木)第11回	15日(木)第12回(新旧)
	理事会 5日(火)第1回 14日(木)第2回	2日(金)第3回 12日(金)第4回	10日(木)第5回 10日(木)第6回	14日(木)第7回 14日(木)第8回	12日(木)第9回	9日(木)第10回	14日(木)第11回	10日(水)第12回	8日(木)第13回	13日(木)第14回	10日(木)第15回	15日(木)第16回(新旧)
総会	7日(水) 賛助会 例会(松江方向) 7日(水) 坂山稲荷参拝 (松江・広瀬)	18日(木)第166回 18日(木) 総会・例会 (松江・広瀬)	17日(木) 例会 (60周年実行特別)	21日(木) 担当例会 (松江の未来創造)	19日(木) 担当例会 (松江方向上)	16日(木) 例会 (松江だんだん)	21日(木) 第1例会・担当例会 (60周年実行特別) 30日(土)・31日(日) 第2例会・松江だんだん (松江だんだん)	18日(木)第167回 18日(木) 総会・例会 (松江・広瀬)	15日(木) 担当例会 (松江の未来創造)	1日(土) 総会・例会・祝賀会 (60周年実行特別)	19日(土) 例会・卒業式式典 (松江方向上)	8日(木)第168回 8日(木) 総会・例会・祝賀式 (松江・広瀬)
例会	7日(水) 坂山稲荷参拝 (松江・広瀬)						日曜未定 少年野球 (松江の未来創造)			日曜未定 卒業式式典 (松江・広瀬)		
事業												
6JC 経済文化交流会												
正副会長会議	19日(火)未定	17日(水)未定	15日(水)未定	19日(火)未定	17日(火)未定	8日(水)未定		17日(水)未定			8日(火)未定	
役員会議	30日(土)・平田	27日(土)・江津			28日(土)・益田		23日(土)・松江		10日(土)・隠岐		26日(土)	
委員会議所会議	第1回(賛会) 30日(土)・平田	第2回 27日(土)・江津			第3回(賛会) 28日(土)・益田		第4回 23日(土)・松江		第5回 10日(土)・隠岐		第6回 26日(土)・未定	
事業		27日(土)・江津 ブロックナイト プロックナイト 【60周年実行特別】			日程未定 審法タウンミーティング 28日(土)・29日(日) プロックナイト大会 (益田)			28日(日)・平田 第4回プロック大会 (松江・広瀬)				
役員会議	22日(金)・京都	6日(土)・西大寺	5日(土)・江津	2日(土)・防府	14日(土)・江津	17日(金)・益田	15日(金)・横浜	20日(土)・未定	24日(土)・光	1日(土)・徳島	12日(土)・玉野	3日(土)・未定
会員会議所会議	23日(土)・京都					17日(金)・益田						3日(土)・未定
プロック大会												
事業						14日(土) 地区コンプレックス(岩田) (事務理事)		20日(土)・未定 JCクラブ	25日(日) 地区野球大会(光)			5日(土) 新田別荘
総会	23日(土)・京都		26日(土)・東京							7日(土)・広島		
常任理事会	9日(土)	19日(金)	11日(金)	22日(金)	20日(金)	24日(金)	14日(木)		16日(金)		18日(金)	16日(金)
理事会	22日(金)・京都	20日(土)	12日(土)	23日(土)	21日(土)	25日(土)	15日(金)・横浜		17日(土)	7日(土)・広島	19日(土)	17日(土)
ブロック会長会議	22日(金)・京都	20日(土)	12日(土)	23日(土)	21日(土)	25日(土)	15日(金)		17日(土)	7日(土)・広島	19日(土)	17日(土)
J C I 諸会議	11日(月)・17日(日) JC常任理事会/理事会 (JCI JEW/JEW)	27日(水)・29日(土) アムカサキ協議会 (ウルグアイ/フロンティア/エ ステ)		27日(水)・29日(土) アムカサキ協議会 (ウルグアイ/フロンティア/エ ステ)	4日(水)・7日(土) アムカサキ協議会 (南アフリカ/共和国/ヨハネス ブルグ)	9日(水)・5日(日) アジア太平洋協議会 (ASAPAC) (佐賀/高尾) 【事務理事】	22日(金)・25日(月) JCI国際協議会 (JCI国際協議会) (アメリカ/セントルイス)			10/30(日)・11/4(金) JCI世界会議 (カリフォルニア) 【事務理事】		
J C I 関係						19日(水)・18日(土) ヨーロッパ協議会 (アムステルダム)	グローバルパートナー ネットワーク(GPS) (アメリカ/ニューヨーク)					
NOM主催事業	21日(水)・24日(日) 京都市議会議 (松江だんだん)				22日(日) サマーコンプレックス(横浜) (松江方向上)		16日(土)・17日(日) サマーコンプレックス(横浜) (松江方向上)			6日(木)・9日(日) 全国大会(広島) (松江の未来創造)		
その他					22日(日) 安来青年会議所50周年 【60周年実行特別】 全国味下和シンポジウム(後援) 【事務理事】	5日(日) 島根大田青年会議所40周年 【60周年実行特別】					12日(土) 浦添45周年 【事務理事】	

2016年度公益社団法人松江青年会議所
一般会計収支予算書（案）

2016年度

2016年1月1日から12月31日まで

(単位：円)

科 目	16年度予算 (2月修正)	16年度予算	増 減	摘要
I、事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	
計	0	0	0	
②入会金収入				
入会金収入	270,000	270,000	0	9名 × 30,000
計	270,000	270,000	0	
③会費収入				
正会員会費収入	6,240,000	6,552,000	▲ 312,000	40名 × 156,000
研修費収入	351,000	351,000	0	9名 × 39,000
特別会員会費収入	150,000	150,000	0	5名 × 30,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0名 × 36,000
計	6,741,000	7,053,000	▲ 312,000	
④事業収入				
受託公益事業収益	0	0	0	
登録料収入	1,125,000	1,125,000	0	周年記念式典 (525,000)、記念事業 (500,000)、9月 (100,000)
販売収入	0	0	0	
家賃・会議室収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
計	1,125,000	1,125,000	0	
⑤補助金等収入				
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	96,500	96,500	0	水燈路関連事業
民間助成金収入	4,496,000	4,496,000	0	松江だんだん (4,000,000)、だんだん少年野東 (496,000)
計	4,592,500	4,592,500	0	
⑥負担金収入				
負担金収入	0	0	-	
計	0	0	0	
⑦寄付金収入				
寄付金収入	0	0	0	
募金収入	0	0	0	
卒業記念品寄付収入	100,000	80,000	20,000	2015年度卒業記念品寄付 (5名)
計	100,000	80,000	20,000	
⑧雑収入				
利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
計	0	0	0	
⑨その他の事業活動収入				
その他の事業活動収入	0	0	-	
計	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	12,828,500	13,120,500	▲ 292,000	

2. 事業活動支出				
①事業費支出				
会場設営費支出	4,652,080	4,652,080	0	
企画演出費支出	1,818,556	1,818,556	0	
本部団関係費支出	524,000	524,000	0	
講師関係費支出	1,101,000	1,101,000	0	
広報費支出	1,411,440	1,411,440	0	
資料作成費支出	242,140	242,140	0	
報告書作成費支出	120,000	120,000	0	
懇親会費支出	198,000	198,000	0	
渉外費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
参加記念品代支出	680,600	680,600	0	
保険料支出	81,100	81,100	0	
通信費支出	2,400	2,400	0	
販売物品仕入費支出	0	0	0	
雑支出	0	317,286	▲ 317,286	
手数料支出	0	0	0	
事務局費支出	0	0	0	
地代家賃支出	1,244,876	1,228,837	16,039	7割按分
給与手当支出	1,120,000	1,120,000	0	7割按分
法定福利費支出	182,212	177,615	4,597	7割按分
福利厚生費支出	0	0	0	
退職給付支出	42,000	42,000	0	7割按分
計	13,420,404	13,717,054	▲ 296,650	
②管理費支出				
給与手当支出	480,000	480,000	0	3割按分
退職金給付手当支出	18,000	18,000	0	3割按分 中退共5,000円/月
法定福利費支出	78,094	76,499	1,595	3割按分
福利厚生費支出	12,000	12,000	-	
会議費支出	39,900	39,900	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信・発送費支出	300,000	300,000	0	
消耗品費支出	60,000	60,000	0	
地代家賃支出	533,512	526,644	6,868	3割按分
リース料支出	95,760	95,760	0	複合機
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	690,000	690,000	0	
光熱費支出	130,000	130,000	0	
記録費支出	10,000	10,000	0	
業務委託支出	125,000	125,000	0	理事変更登記等・公益会計業務委託料
インフォメーション関係	100,000	100,000	0	
保険料支出	0	0	0	
租税公課支出	0	0	0	
渉外費支出				
記念品代	30,000	30,000	0	
慶弔費	100,000	100,000	0	
JC渉外費	87,500	87,500	0	
負担金支出				
日本JC会費負担基本額	30,000	30,000	0	
日本JC会費付加金	200,000	210,000	▲ 10,000	40名 × 5,000
JCI会費	45,360	47,628	▲ 2,268	40名 × 1,134
国際協力金	73,000	76,650	▲ 3,650	40名 × 1,825
出向者負担金	40,000	20,000	20,000	2名 × 20,000
WE BELIEVE等購読料	120,000	126,000	▲ 6,000	40名 × 3,000
地区協議会負担金	20,000	21,000	▲ 1,000	40名 × 500
ブロック協議会負担金	270,000	282,000	▲ 12,000	40名 × (3,000+3,000) + 30,000
その他負担金	50,000	50,000	0	京都会議+全城+負担金
雑支出	170,000	170,000	0	
計	3,908,126	3,914,581	▲ 6,455	
事業活動支出計 (B)	17,328,530	17,631,635	▲ 303,105	
事業活動収支差額 (A) - (B)	▲ 4,500,030	▲ 4,511,135	11,105	

Ⅱ、投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入				
周年事業積立資産取崩収入	4,695,322	4,695,322	0	
②固定資産売却収入				
什器備品売却収入	0	0	0	
③その他の投資活動収入				
その他の投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	4,695,322	4,695,322	0	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出				
周年事業積立資産取崩支出		0	-	
②固定資産取得支出				
什器備品取得支出	0	0	-	
③その他の投資活動支出				
その他の投資活動支出	0	0	-	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	4,695,322	4,695,322	0	
Ⅲ、財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	-	
②その他の財務活動収入	0	0	-	
③他活動振替収入	0	0	-	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	0	-	
②その他の財務活動支出	0	0	-	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ、予備費支出				
①予備費支出	317,114	200,000	117,114	
当期収支差額	▲ 121,822	▲ 15,813	▲ 106,009	
前期繰越収支差額	6,143,408	5,922,925	220,483	
次期繰越収支差額	6,021,586	5,907,112	114,474	

委員会名	事業名	開催月	委員会希望事業予算額			備考
			事業費繰入予算額	事業費外繰入予算額	計	
総務・広報委員会	定時総会・例会	2月、8月、12月		40,072	40,072	事業費外繰入予算額は管理費支出
	水燈路関連事業	10月	96,500	96,500	193,000	事業費外繰入予算額は地方公共団体助成金収入
	渡鍵式	12月		378	378	事業費外繰入予算額は管理費支出
	会員名簿の作成	12月		250,000	250,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
	要覧の作成	2017年2月		200,000	200,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			96,500	586,950	683,450	
松江だんだん委員会	6月度例会	6月	15,700		15,700	
	7月度第二例会（松江だんだん）	8月	482,000	4,000,000	4,482,000	事業費外繰入予算額は民間助成金収入
	卒業式祝賀会	11月		7,000	7,000	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			497,700	4,007,000	4,504,700	
60周年特別実行委員会	3月度例会	3月	15,700		15,700	
	7月度第一例会	7月	65,900		65,900	
	創立60周年記念式典・祝賀会	10月	1,296,500	533,500	1,830,000	事業費外繰入予算額（事務局員長祝賀会費50,000円は管理費支出、登録料収入225,000円）
	創立60周年記念事業	10月	1,090,000	500,000	1,590,000	事業費外繰入予算額は登録料収入（1,000円×500人）
	創立60周年記念誌の発行	10月	120,000		120,000	
	創立60周年の広報	随時	46,440		46,440	
小計			2,634,540	1,033,500	3,668,040	
会員力向上委員会	賀会例会	1月	19,400		19,400	
	5月度例会	5月	17,800		17,800	
	11月度例会	11月	274,100	20,000	294,100	事業費外繰入予算額は管理費支出
小計			311,300	20,000	331,300	
松江の未来創造委員会	4月度担当例会	4月	25,390		25,390	
	松江だんだん少年野球大会	7月		496,000	496,000	事業費外繰入予算額は民間助成金収入
	9月度担当例会	9月	1,857,000	100,000	1,957,000	事業費外繰入予算額は登録料収入
小計			1,882,390	596,000	2,478,390	
委員会事業費合計			5,422,430	6,243,450	11,665,880	
事業予備費						
事業費総予算額			5,422,430	6,243,450	11,665,880	

【参考資料】 公益法人会計 簡易算定シミュレーション
(2016年1月1日～2016年12月31日)

① 公益事業費率 50%以上

公益事業に関わる支出が全体の支出の50%以上となること

公益事業費率算定

公益事業費支出	全体支出	公益事業費率	判定
11,920,792	18,204,896	65.5%	○

② 遊休財産が公益事業費支出以下であること

法人が抱える遊休財産が公益事業に関わる支出以下であること

遊休財産算定

公益事業費支出	遊休財産額 ※1	遊休財産規定超過額	判定

※1 遊休財産額算定

(資産計) - (負債計) - (基金) - (控除対象財産の額) + (対応負債の額)

③ 収支相償

公益事業に関わる収益が支出を超えないこと (赤字となる必要がある)

公1

公益事業収益	公益事業費支出	公益事業収支	判定
4,500,000	6,406,164	-1,906,164	○

公2

公益事業収益	公益事業費支出	公益事業収支	判定
496,000	607,816	-111,816	○

公3

公益事業収益	公益事業費支出	公益事業収支	判定
196,500	2,317,724	-2,121,224	○